

HONTAN

図書館ボランティア「本探」が 第37号
 旬の図書館情報をお知らせします☺

役立つ情報が
 いっぱい!!

2013年
 5月号



9 PIECES

今回の9ピースのテーマは、
 『自然をテーマにした本』
 様々な“自然”が集まりました！

珠のセレクト
 有川浩
 913.6/A

『植物図鑑』
 ある日、拾ったのは植物オタクな彼。
 不思議で美味しい道草恋愛小説。

あんのセレクト
 古内 一絵
 913.6/F

『快晴フライング』
 これはありなのかも？
 “前代未聞”の男女混合×ドレーヴー!!

七味のセレクト
 貴志祐介
 913.6/K-1

『新世界より』
 自然豊かな集落、神栖66町に住む少女たちは、
 ある日禁断の知識を得てしまう。

伊上のセレクト
 川島 秀一
 369.31/K

『津波のまちに生きて』
 気仙沼に生まれ育ち、被災して民俗学者が、
 地震・津波の状況と三陸沿岸の生活文化を語る

傘のセレクト
 辰濃 知男
 519.811/Y

『よみがえれ知床』
 知床の森の再生までをたどる

スエーデンのセレクト
 佐藤 秀明
 748/S

『雨のくに』
 四季の雨の写真と日本独自の雨の名前。
 あいはいはいの天っていほすか？

カンのセレクト
 東野 圭吾
 913.6/H

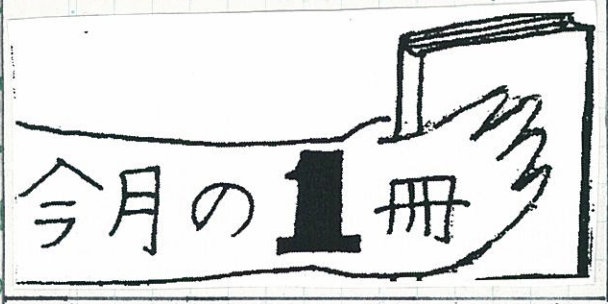
『真夏の方程式』
 美しい海を語る町で波瀾に満ちた男の愛死体が発見された。
 事件、事故と鬼火に似たものが、16年前のある事件との関
 係が浮き上がる。

あきのセレクト
 森 絵都
 915.6/M

『屋久島ジューシー』
 のんびり楽しいグループ旅行のほすが、
 屋久島は甘くならず!!

のすみのセレクト
 沖方 T
 913.6/U

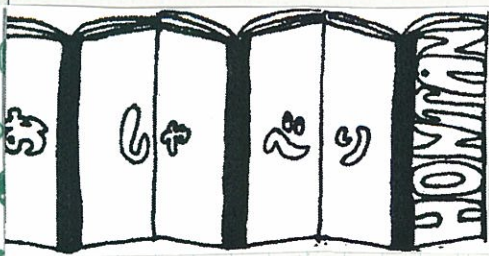
『天地明察』
 正しい歴史作りに天に問い、神にたずねる天文学者の
 淡路湾の前身多難な人生を描いた傑作。



だせば、担任である安田を殺すというものです。私にはこの主人公のように勉強に追われて
 いるわけではないけれど、自分ひとりで戦っているように思うこともあると思います。時には、人のつながり
 を感じる事ができないときがあるのではないかと思います。だからこゝろ思い出して下さい。高校生
 くらいで、怖かして何かを成し遂げることがあると思います。そのことが尊敬なことであること、今一度、人の
 つながりやをこの本を通じて感じてほしいです。舞台は高校であるため、ギャップはあるかもしれませんが、
 オススメします。山田悠介さんの作品を読んだことがある方の中には、昔に読んできりという方も多
 いのではないのでしょうか。大人になった今、もう一度ちがう気持ちで読んでみるのはいかがでしょうか。
 <カン>

『パズル』山田悠介 913.6/Y

あらすじは、超有名進学校の特進クラスが、武装した
 集団に占拠される。犯人グループの要求は、『48時間以内
 に、校舎内に隠された2000ピースのパズルを探し出せ。探し
 出せば、担任である安田を殺す』というものです。私にはこの主人公のように勉強に追われて
 いるわけではないけれど、自分ひとりで戦っているように思うこともあると思います。時には、人のつながり
 を感じる事ができないときがあるのではないかと思います。だからこゝろ思い出して下さい。高校生
 くらいで、怖かして何かを成し遂げることがあると思います。そのことが尊敬なことであること、今一度、人の
 つながりやをこの本を通じて感じてほしいです。舞台は高校であるため、ギャップはあるかもしれませんが、
 オススメします。山田悠介さんの作品を読んだことがある方の中には、昔に読んできりという方も多
 いのではないのでしょうか。大人になった今、もう一度ちがう気持ちで読んでみるのはいかがでしょうか。
 <カン>



『HONTANとは!?』

私たちがHONTANについて、おしほりしたいと思っ

ています。HONTANの概要を。

HONTANとは、北星学園大学で活動する学生ボランティアです。図書館を、学生の視点から盛り上げ、学生への本の紹介や、多くの利用の促進を目標とし、2009年6月結成以来、様々な活動を通じて、学生と本とが親密な関係を築いています。

HONTANという名称は、絵本のキャラクター「HONTAN」に由来しています。また、本の探求、探索 = 本探 という意味も込められています。主な活動は、図書館内での企画展示、DVD展示の作成など。毎月1日に機関紙「HONTAN」を発行しています。

簡単に言うと、「図書館がもっと利用してもらえようにはどうしたらいいかな?」「図書館の魅力を伝えるにはどうしたらいいかな?」って頑張っております。簡単

に書いてあります!細かくはもっと色々書いてほしいですね!!

私は、HONTANに入ったことで、今まで知らなかった作家さんとか、ジャンルとかを知り、本に関する知識がどんどん増えました。いかに本を読んで読みたいと思いません。読みにいかに本が読みたいと思えないというよりは幸せなことですね。

珠

私は高校のころ、結構読書が好きだったのですが、好きな作家さんとか「読んで」ばかりだったので、HONTANに入ると、色んな話を知ることができ、おもしろいといううちに、読む本の幅が広がりました。有難いことです。

「大学の図書館って感じ」という印象は愛着があるのですが、やはり大学生の方が読めることは増えていて、高校のときより楽しいことが多かったです。

七味

私も、今まで月一くらいしか本を読まなかったのですが、HONTANに入ってから、展示やニュースを見て、読みにいかに本が読みたいと思えました。あと、毎月のネタが読めるために、おもしろい読んだことのないジャンルの本も読むようになりました。

あん

HONTANに入ってから読めたことは、自分

の好きな本をたくさん読むことです!同じに本好きの友達が多いので、この本良からたはあ...とか、ひとりでもよく読んでほしい。今は、毎月一冊は読んで読みたいと思えるのでしあわせです!

傘

HONTANの機関紙に投稿する機会が多くあるため、文章を書く機会が多くなりました。もっと文章を書くことが好きなので、とて楽しく書かせていただいています。図書館事務室にも出入りできるので、職員さんとも話せる機会が増えました。本の知識が広がるだけでなく、様々な機会と与えられた場だと感じます。

珠

おもしろい本は誰にも勧めたいです。文芸研究会とか、本について話せる深く読みたいと考察し、議論しければいいと思います。よく勝負はイメージがあって(研究会の方のイメージ)。私には一読して「あ、面白かった」です。その間はお断りして(個人の勝負はイメージです、申し訳ないです)。その点HONTANは、本が好きなライト層からヘビー層まで、どんな本でもOKな感じが好きです。



『パリの20区、僕たちのクラス』 778.72/P

パリのフランソワ先生が、担当する学級は、出身国がフランスばかりな生徒が集まったクラス。人種問題、非行行動、授業での先生と生徒の対立など問題はばかり。フランソワ先生は、そんな問題だらけのクラスに正面からぶつかっていくお話し。まるで本物のドキュメンタリーのように描かれた本作。知られていないとはなにか気づいてないかもれません。教育に興味がある方にぜひ見て頂きたい作品です。

<おすみ>

HONTAN
展示
みつけて

DVD展示

今回のDVD展示は、『こんなときはコレ!特集』です。突然ですが春は出会いの季節 → 新しい友達ができる → 空き講が重なる → 図書館と一緒にDVD見る? ということになったとき、どのDVDにしよう...? と悩まはります。そんなときには、この展示を参考にしてみたいですね!!

<あん・スーモ>

『AREA』 4/15号

「Xティイ」のページより紹介します。最近、若手の論客がブレイクしています。注目されたきっかけが、『文化系トークラジオLife』らしいです。ラジオで自由に社会について論じているラジオのようです。Xインパティティは、社会学者の鈴木謙介さん。彼を中心に社会の変化について熱く語っているようです。記事には、「何でも話せる貴重な場」と記述しております。真面目に何でも話せる場というのはどんな人にも必要になってくると思います。それをラジオでできるのはすばらしいことではないでしょうか。自由に話せるラジオからXティイで影響力を持つ論客が生まれるのはすばらしいですね。自由に話せて、若くは結果的にいいかと思います。

→ 『サザカレニッポンの新自由主義』 鈴木謙介 304/15 <傘>

